

鯖江市総合戦略推進会議 第2分科会【要旨】

日時 令和元年10月10日（木）

午後1時から

場所 市役所 4階IT会議室

【出席】4委員（欠席2名）

1 開 会

2 分科会長あいさつ

3 議 事

「若者が住みたくなるまちの創造」の改訂について

4 閉 会

【配付資料】

- ・ 総合戦略推進会議委員名簿（分科会別）
- ・ 総合戦略推進会議分科会実施手順
- ・ 鯖江市総合戦略体系図

【議事要旨】

▼分科会長あいさつ

会長を務めさせていただきます竹部です。よろしくお願いします。市役所の職員も含めて、リラックスした雰囲気、若者感覚を持ちながら皆様からの活発なご意見をいただければと思います。では、事務局から総合戦略体系図等の説明をお願いします。

▼総合戦略推進会議分科会実施手順について

事務局説明。

▼総合戦略基本目標Ⅰ「魅力なる雇用の創出」体系図説明

事務局説明。

▼事務局

合わせて、本日欠席された委員より事前に意見をいただいております。一つは、原資を水道代にプラス100円／月上乗せし毎年30名に100万円が当たる宝くじを実施したらどうかというもので、可能性について色々調べましたが、水道代は水道事業という目的に即していないといけないものなので難しく、また市税への上乗せの可能性についても、公平性の観点から難しいのが実情です。実現可能性としては公的機関ではなく民間が寄付を募るなどのやり方が考えられますが、そもそも宝くじは法的に県や国の機関のみが取り扱えるとのことで、法的に問題ない形で民間が実施することは可能であると思います。そして次の意見、「オープンデータとITで都会的サービスが享受できるまち」の「都会的サービス」という言い方が古臭く、逆に都会に憧れをもつ人を増やしてしまうのではないかと、また首都圏ではいまだに公共交通のオープンデータ化が実

現されておらず、鯖江市は世界のどこにもないサービスを創造・享受できるまちを目指すべきとの意見がありました。なお、都会的サービスに関する文言については、今回の改訂により削除する予定であります。2つ目の意見は先日開催しました第4分科会において議論させていただきましたが、コミバスについて高校生までは無料にし、オンデマンドマイクロバス、いずれは自動運転化を目指してはどうかという意見であります。三つ目が、魅力ある雇用の創出ということで、こちらは第1分科会において議論させていただきましたが、鯖江で起業すると3年間法人税、市民税を減税したらどうかという意見について、法人税は市レベルで実施できるものではないこと、また市民税や固定資産税においては、これらを減税すると国からの交付税が減額される可能性が高く、市全体に不利益が被るということで難しいと考えております。もしやるのであれば、現在も行っている創業支援を充実させるといったやり方が現実的だと思います。また、鯖江起業家ミートアップ開催についてですが、こちらは起業家の方が集まり意見を交換する場を設けるということかと思いますが、こちらについては取り組んでみてもいいのではと思います。その次のJK課含む、高校生、高専生のインターンシップについても、竹部会長始め色々な方が既に取り組んでいる中、それらを拡充していったらどうかといった意味合いが含まれているかと思いますが、市も協働で取り組んでいくことは問題ないかと考えています。

▼分科会長

説明ありがとうございます。では、基本施策、K P I、実施施策、主要な事業等、委員の皆様の質問、意見等いただきたいと思います。

▼委員

J K課参加者数についてだが、これは所属人数と解釈してよいか。

▼産業環境部長

そのとおりです。

▼委員

このようなK P Iにすることで担当職員も重圧を感じてしまっていることもあるのではないか。このK P Iについては再考をお願いしたい。

▼産業環境部長

担当とも協議しながら検討したい。

▼委員

鯖江高校の文科省の事業など、普通の高校生による地域への参画、取組みは増えてきており非常に良い流れだと思う。学生団体w i t hにも高校生の参加が増えているし、福井高専もそういった動きが出てきている。J K課の取組みに加えて、そのような様々な高校生の取組全体を組み入れていくべきではないかと思う。鯖江高校の取組みもチャンスであり、自身もそういう取組みにはバックアップしていきたいし、地域に来る若者が増えるということは、地域活動をする若者も増えるということでもあるので、この好循環によって「若者が住みたくなるまちの創造」にもつながってくるものと思う。

▼委員

資料を事前に見させていただいて、西山公園や河和田などの記載はあったが、サンドームに関わる記載は一切見当たらなかった。これは何か理由があるのか。というのは、皆さんもご存知のとおり、コンサートが開催される時はＪＲ鯖江駅にもたくさんの来客があり、その度にトイレが足りない、荷物の預け場所がないなど、応対に苦慮していると聞いている。それほど若者を始めたくさんの方が来られるということなので、サンドームについて何か記載があってもいいのかなとも思い、考えをお聞きした。

▼事務局

盛り込むとなると、おそらく観光の部分になろうかと思いますが、今まではそのような視点での記載はたしかにありませんでした。

▼政策経営部長

たしかにコンサートの際にはたくさんの方が来られるが、コンサートが終わるとすぐに帰ってしまう方が多い。ただ西山公園で行われたレキシのコンサートの時は、商店街連合会の方の意見にもあるとおり、地元にもお金が落ちて評判が良かったと聞いている。

▼委員

それは、駅から商店街を通る導線がきちんと出来上がっていたからだと思う。

▼政策経営部長

おっしゃるとおり、そういう戦略、仕掛けが合わせて必要になってくると思う。サンドームから鯖江駅までを考えると難しい部分はあるが、めがね会館の来場者は増えていると聞いており、何か工夫、仕掛けができるといい。

▼委員

めがね会館などの既存施設だと問題ないが、コンサートを当て込んで道中に出店などを出そうかとなると、コンサートの主催者から絶対クレームがあるのでできない。ただ、上嶋さんたちの「おせっ会」には主催者側もボランティアということで協力的である。おせっ会がやるなら大丈夫といった醸成が出来つつあると思う。私自身もメンバーに入ってお手伝いさせてもらっているが、最近はメディア側から積極的に取材に来るようになった。また、９月にＫＡＴ－ＴＵＮのコンサートがあったかと思うが、そのコンサートに来られた女性から「鯖江で大変親切に接してもらえた」と亀梨さんのラジオ番組でも紹介されて、亀梨さんから「その女性に代わりお礼しておきます」というやり取りがあった。これがまさに関係人口なのかなと感じたエピソードであるし、こういうところからつながってくるものなのかなと感じた。

▼委員

私も何度かおせっ会の手伝いをさせていただいたが、本当に大変な作業で頭が下がる思いである。コンサート終わってからＪＲの列車を待っている時間に、駅周辺で食事ができる所はないか聞かれることが多いので、近くのお店の客入りの状況などを確認しながら伝えたり誘導したりをやっている。ただコンサートは土日開催が多く、特に日曜日の夜は休みのお店が多く苦慮している。分かりやすいマップなどあればいいが作成までは

至っていない。どういうバックアップが考えられるか分からないが行政のバックアップも必要ではないかと思う。

▼委員

サンドームから駅までの歩道上に電球の据付撤去作業も行っているが、多くの来場者から「なぜこのようなことをされているんですか？」と聞かれる。「ただのおせっかいでやっています」と答えると、「コンサートなどで全国色々な会場に行っているが、ここまでされているところはありません」と感謝されることが多い。

▼委員

道路関連法令の関係で、1日ごとに据え付けと撤去を繰り返さないといけなく、本当に大変な作業だと思う。ただ、新聞か何かで行政が整備するといった記事があったと思うが

▼委員

街頭を整備するといったものではなかったか。あと鯖江市が道中の踏切付近にベンチや花壇などを整備した。

▼委員

おせっ会への感謝や鯖江大好きといった声はSNSでもたくさん上がっており、最高の鯖江ファン獲得、貢献度ではないか。この取組みはぜひ組み入れていただきたい。

▼事務局

はっきりと記載することは難しいかもしれませんが、ニュアンスを出すことは可能かと思います。

▼委員

ただ、補助金などの支援を行うと、それが当たり前になってしまわないか。

▼委員

おせっ会のメンバーは、補助金をもらおうと制約が生まれてしまうということで、逆に補助金には拒否反応を示す人たちがばかりなので大丈夫だと思う。

▼委員

心でやっている取組みだと思うので、絶対補助金は絡めてないほうがいい。

▼委員

例えばクラウドファンディングを活用するとか。

▼委員

クラウドファンディングは後処理が大変なので、難しいところもある。それより、先ほど議論にあった高校生の支援があってもいいのかなと思う。

▼委員

おっしゃるとおりで、高校生にとっても誇りの持てる取組みだと思うので、何かできないか。

▼委員

おせっ会と意見交換会をさせてもらった際、先ほども言われたマップ作成なども話題

に上がった。マップ自体は市や商工会議所など色々な所から出ており、何か統一した見やすいものを観光協会の予算で作成してもいいのではないかと、それこそ土日に食事ができるお店など掲載されていると便利だと思うし、その辺りで観光協会としてできることはないか。ただ、観光協会も人手不足など色々な課題を抱えており、なかなか実行に移せない中、先ほどから出ている高校生やOG課など若い人たちにサポートに入ってもらい、若者の視点で鯖江の観光について意見を出してもらい、さらに活動に参加してもらおうといったところがあると非常に助かるし、観光振興にもつながってくるのかなと思う。

▼委員

県内の高校でも、例えば若狭高校の書道部や美術部の生徒が小浜市内の史跡や文化施設に関するマップをデザイン含め作成したという事例もあり、もしよろしければ、自身の鯖江高校の生徒も何かお手伝いできることがあれば、ご相談させていただきます。

▼委員

非常に良いことだと思う。

▼産業環境部長

観光協会については、批判も含めて色々な声をいただいている。市としても協会に補助金を出している立場として、指導させていただいているが、観光とは何かということ、おもてなしの精神というところを自分自身も含めて、今一度見つめ直しながら、あくまで自主的な参画が大前提にはなるが、今言われたJK課等の参画というのは一つの活性化策だと思う。

▼委員

探求心の向上や勉強にもなるので、そこはJK課だけではなく鯖江高校など色々な高校生に参加してもらい、その中でグループを作って1グループだけでもいいので交流していく。そうすれば若者の視点も加わるので良いのではないかと。

▼委員

西山公園で一つお願いというか話をさせていただきたいが、私もCAVASABA（サバサバ）というイベントを毎年開催しているが、西山公園の出店に対する制約が多い。円形芝生広場内でのフード物販は駄目だと毎年言われており、私たちが自由なレイアウトでやりたいと思っても、そのような制約があり毎年同じような配置でしかできない。一つ確認だが、管理、管轄は市なのか、それとも公園事務所なのか。出店申請、提案は公園事務所に毎年しているがなかなか受け入れてもらえない。

▼政策経営部長

西山公園については、指定管理ということでパークサポートLLPが管理している。

▼委員

別のイベントでは出店されていたこともあったと思うが。

▼委員

円形部分の石畳の所は出店できるが、芝生内は駄目だと言われた。本当は芝生内に出たいが、駄目だと言われ、思うようなレイアウトでイベントが開けない。その辺の規

制を外してもらえれば、もっと西山公園が使われて観光客も増やせるのではないかと常々思っている。

▼委員

西山公園については、正直高校生には魅力を感じないのではないかと。

▼政策経営部長

年配の方たちの散策や散歩での利用は増えている。

▼委員

若い人にもトレイルランニングが流行っており、西山でランニングしている人も見かける。その辺の健康面から取り組んでみるということも一つあるかもしれない。

▼委員

若い人たちが地元の魅力を知らないということもあると思う。出前講座などで歴史や文化をもっと伝えていく、そして若い人たちに地域での何かしらの活動を推奨していかないと、地元の魅力を知らないまま、ここには何もないから都会に行きたいとなってしまう。今日の武生東高生もそうだった。なので、どんどん地域に出ていくべきだと思う。

▼政策経営部長

先ほどの観光協会と鯖江高校生とのサポートの話だが、例えばQRコードなどを利用したデジタルパンフレットを一緒に手掛けるといったことをしてみてもどうか。デジタルだと情報の更新も簡単にできるので。

▼委員

それはすごく良いアイデアだと思う。若い人たちは紙だと捨ててしまう。またストーリーとしても地元の高校、高校生がデジタルパンフを作成したというのはインパクトがあると思う。

▼事務局

先ほどの西山公園の出店場所等に関する回答ですが、芝生内は子どもなどが自由に遊べるスペースということもありお断りをしているとのこと。また噴水前については、基本的には人通りのある所ということでお断りをし、その南側の一段上がったトイレ前の広場については出店スペース用として下水など整備がされているので、そちらを優先しているということです。また噴水前の運用について、歌のステージ設置といった利用方法による弾力的な運用は一部あったかもしれないが、基本はお断りをしているとのこと。

▼委員

それが、より明確になっていると文句も出ないと思う。規定をきちんとwebも含めて出すべきかと思う。

▼事務局

まとめ（ホワイトボード・別添のとおり）説明。

▼委員

まとめを見ると、まさに市民主役だと思う。最近はSDGsの話題ばかりだが市長も

常々三本の矢の一つとして言っているし、総合戦略にも掲げられている。おせっ会の活動やJ K課もある意味そうであるし、市民主役は鯖江の最強ツール、一番すごいところだと思うので、市にはもっと全面に押し出していただきたい。若者の市民主役などでも良いと思う。

▼事務局

新たな総合戦略においても大きな柱、重点施策として市民主役のまちは引き継がれますし、それ以外でどのように反映させるかについて今すぐにお答えはできませんが、分かりやすくできるように検討していきたいと思います。なお、SDG sについては、全ての体系図にアイコンをはめていくといったことにはなるかと思います。

▼委員

SDG sアイコンはどのようにはめ込んでいくのか。

▼事務局

これからの検討事項ではありますが、少なくとも基本施策ごとにはめ込むことにはなるかと思います。

▼委員

分かりました。また、今後のスケジュールはどうなるのか。

▼事務局

分科会はこれで終了となりまして、11月11日午後、あるいは12日の午前中のどちらかで全体会を開催させていただき、その際に素案を提示できればと考えております。また、本日いただいた意見等は分科会長と調整させていただき、委員の皆様には調整した結果を通知させていただくということでお願いします。

▼分科会長

分かりました。全てオープンにさせていただいて構わないと思う。

▼事務局

了解しました。また、もう一つ報告がありまして、第1回の推進会議の際には、答申も含めて今年の12月までにと説明させていただきましたが、総合戦略に加えて現在、子育て関係や女性活躍関係の計画も並行して作成中であるため、それらの計画との整合性も図りながら、そして来年度当初予算編成にも考慮しつつということで年内に素案を作成し、年度内に答申、完成ということでお願いしたいと思います。

▼分科会長

分かりました。それでは、本日の会議はこれで終了します。ありがとうございました。